

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／資産複合	
信託期間	2022年5月20日(設定日)から 2023年3月14日(償還日) (当初2032年5月17日)	
運用方針	CAM ESG日本株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の金融取引所に上場する、ESG(環境対応、社会責任、企業統治)に優れた企業もしくは関連企業によって発行された株式および株式関連証券に投資しつつ、金上場投信(金ETF)に直接投資することでリスク低減効果が期待され、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	CAM ESG日本株マザーファンドの受益証券と金上場投信
	CAM ESG日本株マザーファンド	日本の金融取引所に上場する、ESG(環境対応、社会責任、企業統治)に優れた企業もしくは関連企業によって発行された株式
組入制限	ベビーファンド	株式および金上場投信への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
	CAM ESG日本株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	年1回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には分配を行わないことがあります。	

ESG GOLD

追加型投信／国内／資産複合

償還運用報告書(全体版)

繰上償還

第1期(償還日:2023年3月14日)

作成対象期間:2022年5月20日~2023年3月14日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、「ESG GOLD」は、投資信託約款の規定に基づき2023年3月14日をもちまして繰上償還いたしました。

ここに、設定来の運用状況と償還内容についてご報告申し上げます。

受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

【電話番号】 **03-5259-7401**

(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率			
(設定日) 2022年5月20日	円 10,000	円 —	% —		% —	% —	% —	百万円 20
(償還日) 2023年3月14日	(償還価額) 10,692.83		6.9	1,947.54	3.7	—	—	10

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額は1万口当たり。(基準価額の全てに共通)

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、東証株価指数 (TOPIX) を参考指数として表示しています。

◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

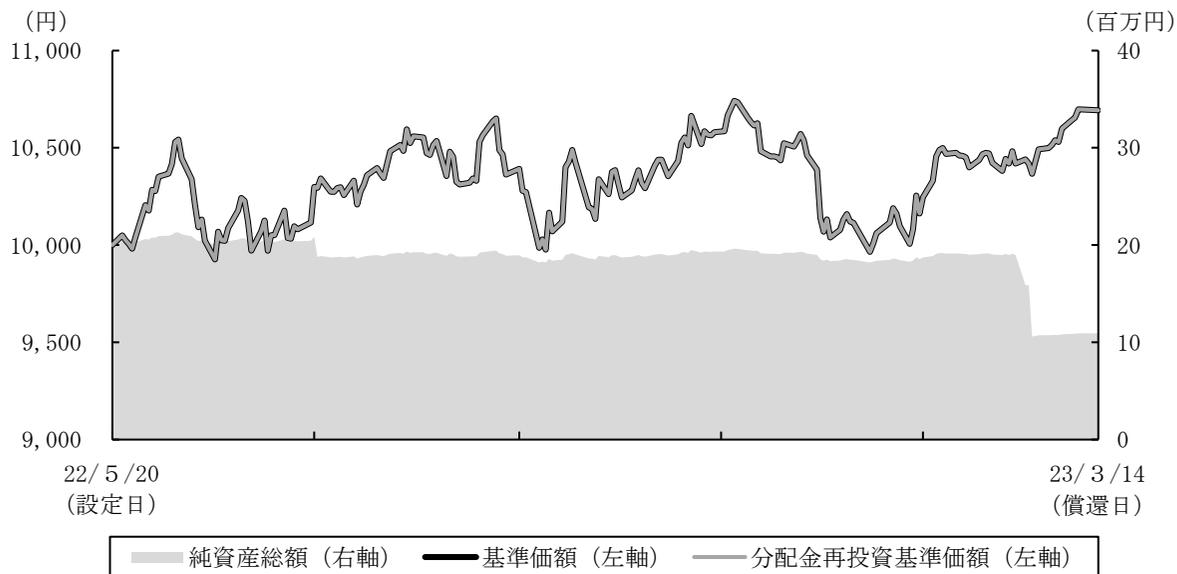
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	
		騰落率		騰落率			
(設定日) 2022年5月20日	円 10,000	% —		% —	% —	% —	
5月末	10,177	1.8	1,912.67	1.9	70.0	22.6	
6月末	10,120	1.2	1,870.82	△ 0.3	72.1	23.7	
7月末	10,257	2.6	1,940.31	3.4	76.2	21.1	
8月末	10,454	4.5	1,963.16	4.6	77.9	21.0	
9月末	10,070	0.7	1,835.94	△ 2.2	75.4	22.0	
10月末	10,409	4.1	1,929.43	2.8	77.0	21.4	
11月末	10,615	6.2	1,985.57	5.8	75.6	21.0	
12月末	10,114	1.1	1,891.71	0.8	75.5	21.9	
2023年1月末	10,460	4.6	1,975.27	5.2	75.1	21.8	
2月末	10,514	5.1	1,993.28	6.2	52.3	0.0	
(償還日) 2023年3月14日	(償還価額) 10,692.83		6.9	1,947.54	3.7	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

◆ 運用経過の説明 ◆

● 基準価額の推移 (2022年5月20日(設定日)～2023年3月14日(償還日))



設定日：10,000円

償還時：10,692円83銭(既払分配金0円)

騰落率：6.9%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

● 基準価額の主な変動要因（2022年5月20日（設定日）～2023年3月14日（償還日））

国内株式に関しては、非財務情報であるESGスコアと財務情報を組み合わせたアプローチを用いて、評価の高い銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。設定来では、三井物産、双日などの商社株やディスコ、アドバンテストなどの半導体関連株、三越伊勢丹ホールディングス、藤田観光、高島屋などのインバウンド関連株が堅調に推移し、基準価額の上昇要因となりました。

金ETFに関しては、欧米のインフレピークアウト、利上げペースの減速への見方から金価格は期首対比上昇、為替も期首対比小幅円安となり、基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境（2022年5月20日（設定日）～2023年3月14日（償還日））

国内株式市場は、米国長期金利が3%割れで落ち着いて推移していたことから、世界的にリスク選好が改善する中、期初から上昇基調で推移しました。6月中旬には欧州中央銀行(ECB)が7月の利上げ方針を事前に表明し、次いで米連邦準備制度理事会(FRB)が0.75%の政策金利の大幅引き上げに踏み切り、更に英国やスイスの中央銀行も利上げを執行したことから、世界的な金融引き締めと景気後退懸念が一気に高まりました。景気後退懸念の高まりに加え、8月中旬発表の米国の7月消費者物価指数(CPI)の上昇率鈍化を受けて、同国の大幅な金融引き締め観測が低下すると、国内株式市場は好業績銘柄を中心に素直に買い上げられる展開となり、8月中旬には東証株価指数(TOPIX)は2,000ポイントを超える水準まで上昇しました。

その後、エネルギー価格の上昇などから米国長期金利が上昇に転じ、FRB議長がインフレ抑制のため金融引き締めへの強い決意を表明したことから株式市場は下落に転じると、米国の8月CPIも市場予想を上回る結果となり、米国の利上げペースが加速すると観測が高まり、株式市場は一段と下落しました。

10月に入ってから米国ISM製造業景況感指数などの主要経済指標が市場予想を下振れし、金融引き締めのペースが鈍化するのではないかという思惑から株式市場は上昇に転じ、米国の11月発表の各物価指数が市場予想を下回ったことから米国利上げペースの減速が意識され、株式市場の上昇基調が継続する中、TOPIXは11月24日に再度2,000ポイントを上回る水準となりました。

12月になると、中国の新型コロナウイルス感染拡大による同国経済の先行きに対する慎重な見方や米国の経済指標の悪化から景気後退懸念が高まると株式市場は下落へ転じ、欧米金融当局の金融引き締め姿勢継続による景気悪化懸念や日銀の長期金利の変動許容幅引き上げ実施による急激な円高などを材料に、年末にかけて下落幅を拡大しました。

年明け以降は、米国の雇用関連のデータでの賃金インフレ鈍化からFRBの利上げペース減速との見方が強まったことや、中国のゼロコロナ政策終了に伴う経済活動の正常化期待などから、株式市場は反転上昇し、年度末が近づくに連れ期末の配当取りの動きや東京証券取引所から株価純資産倍率(PBR)の低い上場企業への資本効率改善要請に注目した買いなども入り、TOPIXは今期での高値である2,071.09ポイントとなりました。その後は、米国シリコンバレーバンクやシグネチャー・バンクの経営破綻、クレディ・スイスの経営問題など金融機関に対する不安が急速に高まると、株式市場は下落し、1,947.54ポイントで3月14日を迎えました。

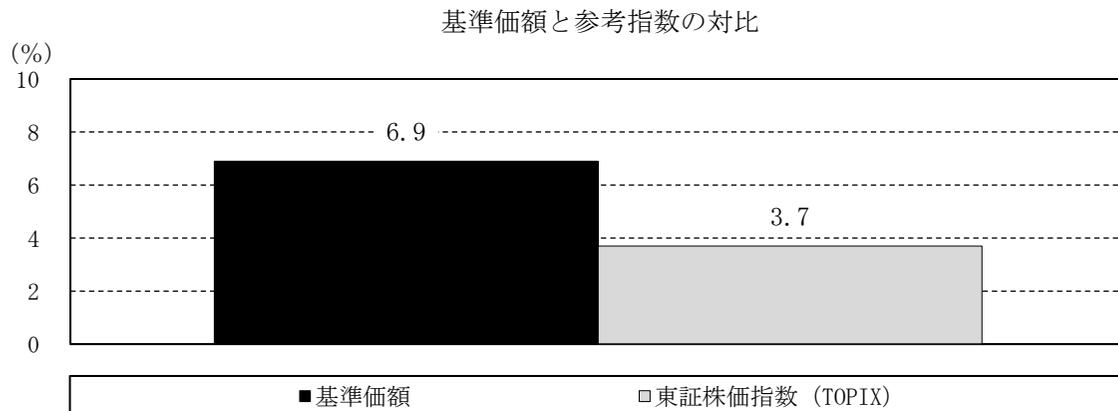
SPDRゴールドシェアにつきましては、期の前半は欧米の金融引き締めへの警戒感等から金価格自体は軟調に推移したものの、対ドルで大幅円安を背景に若干の上昇となりました。期の後半はインフレピークアウト、利上げペースの減速の思惑や金融不安などから金価格は大きく切り返したものの、為替が円高となったこともあり上昇幅を縮小させる展開となりました。

● **当該投資信託のポートフォリオ** (2022年5月20日(設定日)～2023年3月14日(償還日))

当ファンドは、「CAM ESG日本株マザーファンド」を通じて日本株式等に投資することで収益の確保を目指しつつ、金ETFに直接投資することでリスク低減効果が期待できます。当運用期間中における金ETFの組み入れは、概ね20～25%の範囲内での組み入れとなりました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）の騰落率です。



(注1) 各期の基準価額は分配金（税引前）込み。

(注2) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「東証株価指数（TOPIX）」を参考指数として表示しています。

● 分配金

該当事項はございません。

● 償還価額

償還価額は、10,692円83銭となりました。

◆ 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	191円	1.847%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は10,342円です。
(投 信 会 社)	(47)	(0.450)	・ 委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(140)	(1.352)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.045)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.074	(b) 売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(8)	(0.074)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) そ の 他 費 用	92	0.894	(c) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(92)	(0.894)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	291	2.815	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

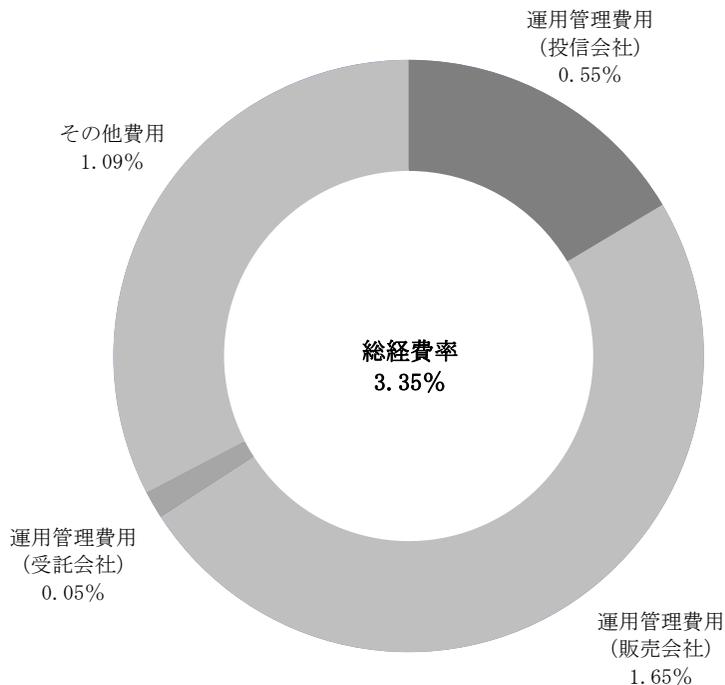
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は3.35%です。



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆ 期中の売買及び取引の状況 (2022年5月20日から2023年3月14日まで)

投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日 本	千口 0.21	千円 4,629	千口 0.21	千円 4,765

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

◆ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2022年5月20日から2023年3月14日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
CAM ESG日本株マザーファンド	千口 10,494	千円 16,000	千口 10,494	千円 17,477

(注) 単位未満は切捨て。

◆ 親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2022年5月20日から2023年3月14日まで)

項 目	当 期
	CAM ESG日本株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,158,072千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,071,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.08

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄 (2022年5月20日から2023年3月14日まで)

投資信託受益証券

買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
SPDR ゴールド・シェア	千口 0.21	千円 4,629	円 22,043	SPDR ゴールド・シェア	千口 0.21	千円 4,765	円 22,694

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等 (2022年5月20日から2023年3月14日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2023年3月14日現在)

組入有価証券はありません。

◆ 投資信託財産の構成 (2023年3月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 11,028	% 100.0
投資信託財産総額	11,028	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

◆ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2023年3月14日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	11,028,921円
コール・ローン等	11,028,921
(B) 負 債	122,232
未払信託報酬	122,204
未払利息	28
(C) 純資産総額(A-B)	10,906,689
元 本	10,200,000
償還差損益金	706,689
(D) 受益権総口数	10,200,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,692円83銭

<注記事項>

期首元本額	20,200,000円
期中追加設定元本額	62,547円
期中一部解約元本額	10,062,547円

◆ 損益の状況

当期：自2022年5月20日 至2023年3月14日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 626円
受 取 利 息	267
支 払 利 息	△ 893
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,216,451
売 買 益	1,621,373
売 買 損	△ 404,922
(C) 信 託 報 酬 等	△ 509,554
(D) 当期損益金(A+B+C)	706,271
(E) 追加信託差損益金	418
(売 買 損 益 相 当 額)	(418)
(F) 合 計 (D+E)	706,689
償 還 差 損 益 金 (F)	706,689

(注1) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2022年5月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年3月14日		資産総額	11,028,921円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	122,232円
受益権口数	20,200,000口	10,200,000口	△10,000,000口	純資産総額	10,906,689円
				受益権口数	10,200,000口
元本額	20,200,000円	10,200,000円	△10,000,000円	1万口当たり 償還金	10,692円83銭

◆ 償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	10,692円83銭
----------------	------------

◆ ごあいさつ ◆

当ファンドは2023年3月14日をもって繰上償還を迎えました。

これまでの受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

CAM ESG 日本株マザーファンド

運用報告書

第 6 期

(決算日：2023 年 1 月 26 日)

(作成対象期間：2022 年 1 月 27 日～2023 年 1 月 26 日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限（設定日：2017年1月27日）
運用方針	日本の株式に投資し中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主な運用対象	日本の金融取引所に上場する、ESG（環境対応、社会責任、企業統治）に優れた企業もしくは関連企業によって発行された株式及び株式関連証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、制限を設けません。

◆ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率		
	円	%		%	%	百万円
2期 2019年1月28日	11,212	△14.6	1,555.51	△17.2	99.8	600
3期 2020年1月27日	13,580	21.1	1,702.57	9.5	99.7	390
4期 2021年1月26日	16,021	18.0	1,848.00	8.5	99.8	274
5期 2022年1月26日	15,260	△4.8	1,891.85	2.4	91.9	1,869
6期 2023年1月26日	16,540	8.4	1,978.40	4.6	99.3	778

(注1) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注2) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、東証株価指数(TOPIX)を参考指数として表示しています。

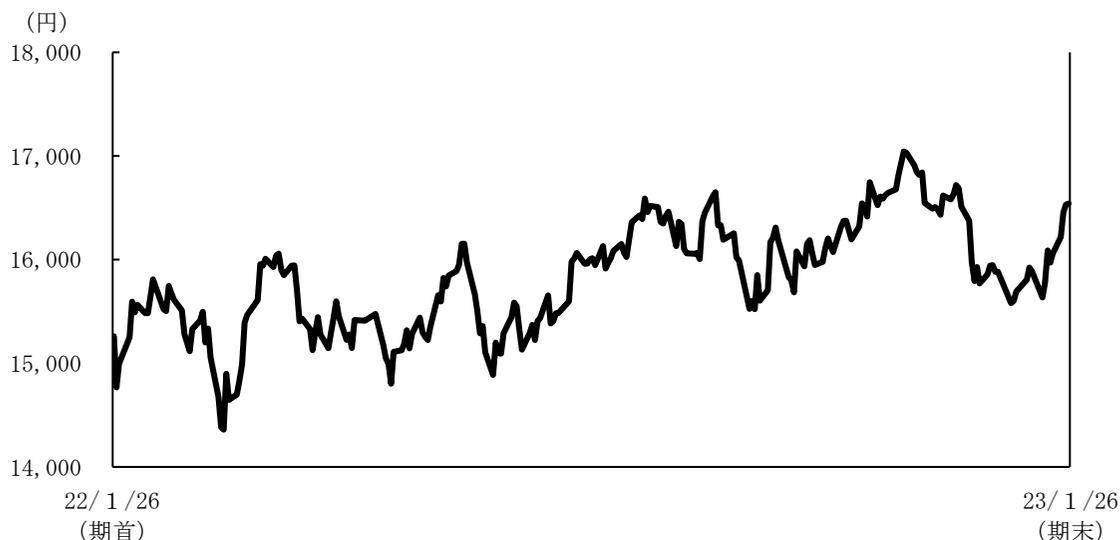
◆ 当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首) 2022年1月26日	円	%		%	%
	15,260	—	1,891.85	—	91.9
1月末	15,183	△0.5	1,895.93	0.2	91.6
2月末	15,410	1.0	1,886.93	△0.3	92.7
3月末	15,898	4.2	1,946.40	2.9	95.7
4月末	15,416	1.0	1,899.62	0.4	97.3
5月末	15,595	2.2	1,912.67	1.1	93.6
6月末	15,334	0.5	1,870.82	△1.1	97.5
7月末	15,946	4.5	1,940.31	2.6	98.2
8月末	16,343	7.1	1,963.16	3.8	99.8
9月末	15,604	2.3	1,835.94	△3.0	97.6
10月末	16,318	6.9	1,929.43	2.0	98.6
11月末	16,815	10.2	1,985.57	5.0	98.3
12月末	15,883	4.1	1,891.71	△0.0	99.1
(期末) 2023年1月26日					
	16,540	8.4	1,978.40	4.6	99.3

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

◆ 基準価額の推移 (2022年1月27日から2023年1月26日まで)



◆ 1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7円 (7)
合 計	7

(注) 費用項目の概要及び注記については、6頁の費用明細をご参照ください。

◆ 期中の売買及び取引の状況 (2022年1月27日から2023年1月26日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 24.8 (1.3)	千円 92,262 (ー)	千株 395.0	千円 1,110,705

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

◆ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2022年1月27日から2023年1月26日まで）

項 目	当 期
(a)期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,202,967千円
(b)期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,339,779千円
(c)売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.89

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄（2022年1月27日から2023年1月26日まで）

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SOMPOホールディングス	1.5	9,044	6,029	日立製作所	4.3	29,432	6,844
富士電機	1.7	8,940	5,259	塩野義製薬	3.6	24,565	6,823
三菱総合研究所	1.8	8,781	4,878	ソニーグループ	2.1	23,785	11,326
ローソン	1.5	7,057	4,705	荏原製作所	4.2	21,989	5,235
電通グループ	1.2	5,534	4,612	大塚ホールディングス	4.6	21,086	4,583
T I S	1.2	4,747	3,956	りそなホールディングス	36.4	20,243	556
SUMCO	2.5	4,619	1,847	セブン&アイ・ホールディングス	3.6	20,032	5,564
アダストリア	2.2	4,300	1,954	T D K	4.4	19,860	4,513
ディスコ	0.1	3,446	34,468	上村工業	3.2	19,789	6,184
オリエンタルランド	0.1	2,382	23,828	岩谷産業	3.6	19,466	5,407

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(注3) 株数および平均単価は、分割、株式併合、株式転換・合併等による増減分を含んでおりません。

◆ 利害関係人との取引状況等（2022年1月27日から2023年1月26日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2023年1月26日現在)

国内株式
上場株式

銘柄	期首 (前期末)	当期 末	
	株数	株数	評価額
建設業 (1.1%)	千株	千株	千円
大成建設	2.8	1.1	4,911
長谷工コーポレーション	3.3	2.2	3,282
五洋建設	14.2	—	—
食料品 (0.4%)			
カゴメ	4.2	1.0	3,070
化学 (9.6%)			
トクヤマ	4.7	—	—
アイカ工業	4.3	1.1	3,404
日油	4.3	1.0	5,420
花王	2.9	0.7	3,651
資生堂	4.2	1.0	6,586
ライオン	4.0	2.1	2,967
ファンケル	4.6	2.1	5,575
コーセー	1.8	0.4	5,660
ポーラ・オルビスホールディングス	2.9	1.9	3,401
上村工業	5.8	2.7	17,739
小林製薬	2.1	0.4	3,648
アース製薬	2.3	—	—
日東電工	2.6	1.0	8,160
信越ポリマー	5.1	3.3	4,174
ユニ・チャーム	3.9	0.8	3,954
医薬品 (6.0%)			
協和キリン	5.4	2.4	7,060
塩野義製薬	5.3	1.7	10,733
中外製薬	6.6	2.2	7,669
科研製薬	2.9	1.1	4,163
エーザイ	3.1	1.0	8,281
ロート製薬	5.4	2.5	5,855
参天製薬	6.6	2.3	2,318
大塚ホールディングス	4.6	—	—
非鉄金属 (1.3%)			
フジクラ	18.9	9.8	9,741
金属製品 (0.6%)			
SUMCO	—	2.4	4,711
機械 (6.6%)			
タクマ	5.5	2.9	3,648
ディスコ	0.5	0.5	19,525

銘柄	期首 (前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
荏原製作所	5.6	1.4	7,644
ダイキン工業	0.6	0.4	9,014
ダイフク	1.9	1.1	7,887
アマノ	2.4	1.5	3,585
電気機器 (24.2%)			
ブラザー工業	4.9	1.8	3,601
ミネベアミツミ	5.2	3.0	6,666
日立製作所	7.6	3.3	22,832
富士電機	—	1.6	8,496
日本電産	2.3	0.9	6,453
ダイヘン	3.9	1.6	6,560
オムロン	2.4	1.0	7,192
日本電気	3.2	1.1	5,104
富士通	0.6	0.4	7,482
アルバック	2.3	1.1	6,666
アンリツ	4.8	1.9	2,428
ソニーグループ	3.8	1.7	19,575
TDK	6.5	2.2	10,208
日本航空電子工業	6.9	3.3	7,375
アズビル	4.0	1.8	6,525
堀場製作所	2.7	1.0	5,900
アドバンテスト	2.4	1.2	11,544
シスメックス	1.1	0.9	7,769
カシオ計算機	7.4	2.6	3,525
浜松ホトニクス	3.1	1.8	12,564
S C R E E Nホールディングス	1.8	1.0	9,600
東京エレクトロン	0.3	0.2	9,108
輸送用機器 (7.7%)			
トヨタ紡織	7.9	—	—
川崎重工業	11.3	6.2	18,321
本田技研工業	8.6	4.9	15,376
スズキ	6.3	3.5	16,716
ヤマハ発動機	4.5	3.0	9,495
精密機器 (6.6%)			
島津製作所	5.1	1.6	6,352
ナカニシ	4.8	2.6	6,929
トプコン	5.7	3.6	5,886
オリンパス	11.2	7.2	17,690
タムロン	2.3	1.3	4,062
HOYA	1.1	0.7	10,195
その他製品 (2.0%)			
バンダイナムコホールディングス	2.9	1.0	8,640

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
NISSHA	5.6	—	—
ヤマハ	4.0	1.3	6,500
情報・通信業(9.1%)			
TIS	—	0.9	3,361
三菱総合研究所	—	1.5	7,575
野村総合研究所	6.0	1.3	4,264
Zホールディングス	40.8	—	—
オービックビジネスコンサルタント	2.3	0.2	988
伊藤忠テクノソリューションズ	3.9	1.6	5,024
大塚商会	4.1	1.5	6,465
BIPROGY	5.3	2.2	7,524
KDDI	5.9	2.2	9,037
DTS	4.8	2.4	7,488
SCSK	10.3	4.2	8,853
NSW	4.8	2.4	4,982
JBCCHホールディングス	5.2	2.6	4,760
卸売業(8.1%)			
双日	11.2	5.3	13,663
伊藤忠商事	5.2	2.8	11,648
豊田通商	4.1	—	—
三井物産	10.5	5.7	22,281
住友商事	8.4	4.1	9,557
岩谷産業	4.5	1.0	5,570
小売業(6.5%)			
ローソン	—	0.8	4,080
アスクル	8.7	2.3	3,969
アダストリア	—	2.1	4,464
三越伊勢丹ホールディングス	19.7	10.9	15,401
セブン&アイ・ホールディングス	5.0	1.5	9,163
高島屋	6.3	4.3	7,795
丸井グループ	4.7	2.5	5,452
銀行業(1.3%)			
しずおかフィナンシャルグループ	—	4.2	4,502
りそなホールディングス	42.5	7.1	5,202
静岡銀行	16.2	—	—
保険業(0.7%)			
SOMPOホールディングス	—	1.0	5,742
その他金融業(0.4%)			
日本取引所グループ	4.4	1.5	2,851
不動産業(1.0%)			
三井不動産	6.1	3.3	8,068

銘 柄	期 首 (前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
サービス業(6.8%)		千株	千株	千円
電通グループ		—	0.8	3,484
H. U. グループホールディングス		8.3	3.0	8,391
オリエンタルランド		1.2	0.7	14,871
サイバーエージェント		6.6	4.2	5,191
共立メンテナンス		5.2	1.7	9,911
藤田観光		8.2	3.2	10,816
合 計	株 数 ・ 金 額	594.2	225.3	773,187
	銘 柄 数 < 比 率 >	100 銘柄	100 銘柄	<99.3%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

◆ 投資信託財産の構成 (2023年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	773,187	99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,536	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	778,723	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年1月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	778,723,597円
コール・ローン等	4,038,742
株 式(評価額)	773,187,580
未 収 配 当 金	1,497,275
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	778,723,597
元 本	470,809,583
次 期 繰 越 損 益 金	307,914,014
(D) 受 益 権 総 口 数	470,809,583口
1万口当たり基準価額 (C / D)	16,540円

<注記事項>

(1) 期首元本額	1,224,853,083円
期中追加設定元本額	10,494,512円
期中一部解約元本額	764,538,012円
(2) 期末における元本の内訳	
CAM ESG日本株ファンド	461,949,919円
ESG GOLD	8,859,664円

◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

◆ 損益の状況

当期：自2022年1月27日 至2023年1月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	32,156,844円
受 取 配 当 金	32,187,187
そ の 他 収 益 金	453
支 払 利 息	△ 30,796
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	74,571,429
売 買 益	154,850,611
売 買 損	△ 80,279,182
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	106,728,273
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	644,242,241
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 448,561,988
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,505,488
(G) 合 計 (C + D + E + F)	307,914,014
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	307,914,014

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。